

高砂市 新たな学校づくり通信

～こどもたちに最適な教育環境を提供するために～

vol.
15

■ 『第9回高砂市新たな学校づくり推進審議会』を開催しました！

令和8年5月に「第9回高砂市新たな学校づくり推進審議会」を開催しました。

第9回では、審議会から提出された「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について（中間報告）をもとに、本市がまとめた「高砂市新たな学校づくり推進計画」の方向性を確認するとともに、今後の学校施設整備の基準となる「学校施設のあり方」について、現状や課題、他市の事例を踏まえてご審議いただきました。

開催日時	令和8年5月25日(月)19時00分から
開催場所	高砂市役所分庁舎1階大会議室
出席者	15名(会長 澤野 幸司)
傍聴人数	0名
審議内容	1. 「高砂市新たな学校づくり推進計画」における方向性の公表について 2. 学校施設のあり方について 3. その他

こどもたちが学びやすく、先生たちが働きやすい学校にするには、どんな整備をしたらいいんだろう？



■ 学校施設のあり方について（現状と課題等）

「高砂市新たな学校づくり推進計画」における4つの方向性を具体化するため、今回は、普通教室、特別支援学級、校内サポートルーム、学校図書館、多目的スペース等、管理諸室を対象に、「学校施設のあり方」について検討しました。

室名	各室・空間の定義など	現状と課題
普通教室	クラス単位で通常の授業を受ける教室であり、児童生徒が大半の時間を過ごす生活の中心となる場。	- 新JIS規格の机やICT機器の導入等により教室が手狭になっている。 - 教材の拡大に伴うランドセルの肥大化、荷物の増加により、既存のロッカーでは収まりきらない。
特別支援学級	障害による学習上又は生活上の困難を克服するために設置される少人数の学級で、1学級あたり8名と定められている。	障害の状態や特性等を踏まえ、個々のニーズに応じた環境整備を行っているが、学校での受入が決定してから対応するため、入学までに環境整備が間に合わない場合がある。
通級指導	通常の学級に在籍し、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、障害に応じた特別の指導を行う指導形態。	外から見えないようにパーテーションを設置したり、高さのある家具で見えないようにしたりするなど配慮が必要である。
校内サポートルーム	学校には行けるが自分のクラスに入りづらい時や、気持ちを落ち着かせたい時などに利用し、無理なく教室や学校生活への復帰を支援する多様な学びの場。	本市では、市内全小中学校に設置し、教室に行きづらい児童生徒が安心して過ごせる居場所の確保に向け、不登校支援員が常駐して、個々のこどもの状況に応じた支援を行っている。

室名	各室・空間の定義など	現状と課題
学校図書館	図書館資料を収集・整理・保存し、児童生徒及び教職員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに児童生徒の健全な教養の育成を目的とする。	1人1台端末の活用や個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、探究的な学びを実現するための場として、メディアセンター※1やラーニングコモンズ※2としての整備事例が増加している。
多目的スペース等	一斉指導以外に、個別学習、グループ学習、複数学年による学習等の活動及び児童生徒の学習成果の発表などに対応するための多目的な空間。	多様な学習活動に柔軟に対応できるが、具体的な使い方のイメージや教室間の音対策・温熱環境の考慮が必要である。
管理諸室	教職員スペースに必要な場として、個人作業のための場、協働作業のための場、リフレッシュの場、こどもたちとコミュニケーションを取るための場が挙げられている。	- 教職員の休憩スペースがなくリフレッシュできる環境が少ない。 - 職員室と校長室が連結していない学校があり、緊急時や迅速な判断が求められる場面での意思決定のスピードの低下などの懸念がある。

※1 図書などの印刷資料に加え、映像やICTなど多様な情報を活用して学ぶための場

※2 図書やICTなどの情報を活用し、児童生徒が集まり、話し合いや探究的な学習などを行える学びの場

■ 主な意見

○ 普通教室

- ・ 小学校の低学年と高学年では、物の管理の仕方が違うと思うので、小学校6年間で同じような教室を整備するのは、望ましい形ではないと思う。
- ・ 教室内にすべてのものを収めるのではなく、人やものを動かして広く使えるように空間があれば良いと思う。
- ・ 教室を社会教育や生涯学習の場としても活用できるようなあり方を検討してもいいと思う。

○ 特別支援学級、校内サポートルーム

- ・ 特別支援学級や学校に通いづらい児童生徒の増加を見据えた施設整備は必要であるが、増加の背景や要因を把握し、ソフト面からの対応を進めることも重要である。そのような取組により、通常学級で学ぶ児童生徒への時間や費用をより充実させられると思う。

○ 学校図書館

- ・ 児童生徒が必ず通る場所に配置したり、地域の人も入りやすいレイアウトが必要になってくると思う。

○ 多目的スペース・多目的教室

- ・ 多目的スペースは校舎の隅に配置されていることが多いので、使いやすい場所とするには教室のそばや教室から行きやすい場所に配置することが大事だと思う。
- ・ 先生たちがどういった意図をもって環境を整備するかによって、廊下も部屋として活用できるのではないかな。

○ 管理諸室

- ・ 先生が気持ちよく働いていることがこどもにも影響すると思うので、働いている先生たちの意見を聞くのが大切だと思う。

詳しい内容は
ホームページで
チェックしてね！

■ 今後の予定

第10回審議会

日 時： 令和8年7月22日(水)18時00分から
場 所： 高砂市役所分庁舎1階大会議室

第9回審議会

